

# 日吉台新聞

発行 日吉台学区自治連合会  
 日吉台まちづくり協議会  
 責任者 野々口義信  
 編集 野々口義信  
 発行所 日吉台4-11-2 梶谷 清苑さん

## 認定こども園設置検討も

日吉台幼稚園

# 幼稚園統合案浮上

## 市、素案で公表

日吉台、雄琴、坂本の市立3幼稚園の統合案が浮上している。大津市が策定した市立幼稚園規模適正化に向けた実施計画素案で明らかにされたもので、昨年来認定こども園設置などの運動を展開してきた学区自治連合会まちづくり協議会は、同問題について、今年度中にシンポジウムなどを計画。さまざまな機会をとらえて住民の意思、意向を確認したうえで新たな運動を展開することとしている。

実施計画素案によると、市立幼稚園については、学校教育と位置づけ、1小学校区に1園整備のこれまでの原則を、中学校区をブロックとした広域エリア設定に改め、1エリア内に必要な施設を配置することにした。素案では、この新原則に基づき、市内すべての中学校区内の幼稚園の再編を検討し、統合、継続など具体的に施設名を明記している。市では、あくまでも現段階では、素案の提示であり、決定ではない、としている。

日吉中学校区のブロックでは、現在、市立幼稚園4園、民間幼稚園1園、民間保育園6園が存在。雄琴、日吉台、坂本の3園統合整備を示す一方で、日吉台幼稚園については「民間による認定こども園設置の可能性についても検討する」とも明示、昨年度から幼児教育施設の存続、拡充に向け住民署名を添えた議会請願をするなど学区ぐるみの運動を展開する日吉台地区に配慮の姿勢もみせている。

学区自治連や同まちづくり協議会では、計画素案提示を受け、今後の対応を検討しているが、このほど、

討しているが、このほど、坂本市民センターで開かれた市幼児政策課主催の計画に関する地域説明会でも「幼稚園では保育時間が短く、働くお母さんにとって、保育、幼児教育に特化した認定こども園が必要」と「統合にはそもそも反対」と「統合が避けられないなら3園の中心に位置する日吉台に施設設置を求め強力で運動を展開すべき」など、日吉台在住の住民からもさまざまな意見が寄せられた。同まちづくり協議会でも、今後の運動を進めるため住民の意思の確認が避けられない、と判断している。

## 市と無償譲渡契約締結

### 学区所有不動産

日吉台学区が所有する不動産の大津市への無償譲渡が決まり、11月中旬、学区自治連合会（濱崎博会長）と市との間で、無償譲渡契約が締結された。

消防団日吉台分団詰め所と同車庫、多目的広場と隣接する「いしづみ会」が使う用地3筆、約2,630平方メートル。もともと汚水処理場用地として使われていたが、団地開発会社の日本地所か



## 防犯カメラ作動

日吉台学区自治連合会（濱崎博会長）は、学区内2か所に、住民の安全、安心を見守る防犯カメラを設置した。写真。学区自治連は、運用にあたり、撮影されたカメラ映像の取り扱いについて、プライバシーと個人情報保護の保護と保管に厳

格な基準を定めた運用基準を設け、施行した（自治連合会ホームページ参照）。カメラが設置されたのは、日吉台診療所前交差点と日吉台団地入口交差点の2か所。日吉台診療所前交差点は北向き、日吉台団地入口は南向きにレンズが向けられ、映像は一定期間保存後、上書きされ続ける。

同自治連が県警に6基設置を申請、うち2基の設置が認められた。運用基準では、学区自治連と日吉台自主防犯推進会がそれぞれ運用責任者を選任。学区自治連と運用責任者は、撮影した画像は、不要な監視、閲覧は行なわない、漏えいしないようデータの厳重保管を定めている。

犯罪の恐れや発生したときには、学区自治連は画像の閲覧を許可できるが、許可のさいには、運用責任者の発議に基づき、学区自治連役員会の合意、承認が必要とし、緊急の場合には、学区自治連会長、運用責任者の承認に代えることができる、と記した。ただしこの場合でも学区自治連役員会に報告し、承認が求められる。

学区自治連では、独自に数台の防犯カメラの設置を検討しており、安全な街づくり役に役立てたい、としている。



野々口 義信

日吉台新聞編集長

## 発行によせて

新年あけましておめでとうございます。昨年、学区自治連、自治連のまちづくり協議会が準備を進めていた「日吉台新聞」ができました。各家庭にお届けします。大規模開発が植栽された街路には、必ずといっていいほど、

りませんが、昭和50年代に県内初の大規模住宅地として開発。平成26年度には、学区自治連創立30周年を迎えました。30歳といえども、活力に満ちあふれ人生でも一

番輝ける時と、思うのですが、わが街、「日吉台」は、少子高齢化の波にさらされ、少しさびしい姿をみせ始めています。こんななか、日吉台に住む人たちは、さまざまなところで街づくり、街再生の努力を続けています。伐採された根の空洞部分を土を入れ、季節の花を植えた街路樹をみかけました。木は、枯死してしまいましたが、形は違えども生命の再生を願う優しい日吉台住民の姿をかいまみしました。日吉台新聞は、この街路樹の光景のように街の再生と活性化に少しでも役

お知らせ  
 掲載したいニュース、記事がございましたら編集部にご連絡ください。  
 連絡先 y-nonoguchi@nifty.com  
 日吉台新聞編集部

